

.....

うきたむ考古通信

.....

2024年4月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

♥令和6年度の館事業運営体制

●令和6年度の考古資料館職員体制が決まりました。3年間勤務した高橋 勉事務職員が3月31日付けで退職し、新たに鈴木昌明事務職員が4月1日付けで採用となりました。館長（渋谷孝雄）、学芸員（伊藤純子、松本恵美）事務職員（木村由紀子）が昨年に続いて勤務することになります。また、館長代理は小林貴宏（高畠町教育委員会社会教育課課長補佐）にし交代し、6名体制で6年度事業に臨むこととなりますので、どうぞ、よろしくお願いたします。

令和6年度の館事業について

♥展 示

●常設展示

変更はありません。

●特別テーマ展

「遊佐町の考古学Ⅰー旧石器・縄文時代ー」

6月15日（土）～9月8日（日）

※旧石器時代から中世まで多くの遺跡の発掘調査が行われている遊佐町考古資料を展示する。今年度はその1回目として旧石器時代と縄文時代の出土品を展示する。

期間中に、関連講座を開講し調査成果と出土品の概要について解説する。

展示図録を刊行する。

展示構成は以下のとおりとする。

第1章 遊佐町の旧石器時代

山形県の後期旧石器時代では最も古い年代となっている前半期の「水林下遺跡」、同じく前半期の「懐ノ内F遺跡」、後半期の「吹浦遺跡」、細石刃石器群である「宮山坂F」遺跡の出土品を展示する。

第2章 遊佐町の縄文時代早期・前期の土器

早期では小山崎遺跡(野島式～素山上層式)、金俣B遺跡の早期末葉(表裏縄文)の土器片を展示する。前期では前葉の小山崎遺跡の第4群(上川名Ⅱ式)、第5群(大木1式)、中葉の第6群(大木2a式)、第7群(大木2b式)、第8群土器(大木3式)の土器や土器片、第9群土器(大木5式)土器、第10群(大木6式)土器と、吹浦遺跡の第5式・6式土器)を展示する。

第3章 遊佐町の縄文時代中期の土器

中期前葉では小山崎遺跡の第11群(新保・新崎式)土器片、杉沢C遺跡の大木7b式土器、中期中葉では小山崎遺跡の第12群土器(大木8a・馬高式)、柴燈林遺跡の大木8a式土器、馬高式(火炎)土器、竜沢山遺跡の大木8a式・8b式土器、中期後葉では小山崎遺跡の第14群(大木9式)、15群(大木10式)の土器片を展示する。

第4章 遊佐町の縄文時代後期の土器

後期前葉では小山崎遺跡の第16群(宮戸Ib式)土器、17群(堀之内1式)、神矢田遺跡の第3群(堀之内1式)土器、小山崎遺跡の第18群(堀之内2式)土器、神矢田遺跡の第4群(堀之内2式)土器、杉沢C遺跡の当該期の粗製深鉢、後期中葉では小山崎遺跡の第19群(加曾利B1式)土器、三崎山A遺跡の加曾利B1式土器、第20群(加曾利B2式)土器、神矢田遺跡の第6群(加曾利B2式)土器、小山崎遺跡の第21群(加曾利B3式)土器、杉沢C遺跡の当該期の粗製土器、後期後葉では小山崎遺跡の第22群(瘤I～IV段階)土器、神矢田遺跡の第10群(瘤IV段階)を展示する。

第5章 遊佐町の縄文時代晩期の土器

晩期前葉では小山崎遺跡の第23群(大洞B式)、24群(大洞BC式)土器、神矢田遺跡の第11群(大洞B式)、第12群(大洞BC式)、晩期中葉では小山崎遺跡の第25群(大洞C1式)、25群(大洞C2式)、神矢田遺跡の第13群(大洞C1式)、第14群(大洞C2式)、杉沢C遺跡の前・中葉の粗製土器、晩期後葉では神矢田遺跡の第15群(大洞A式)、第16群(大洞A'式)土器と杉沢C遺跡の晩期後葉～末葉の粗製土器を展示する

第6章 縄文時代の石器

縄文時代の生産用具である石器とその変遷を追う。前期では小山崎遺跡の4次1区の包含層出土の石器、吹浦遺跡の石器、中期では柴燈林遺跡の石器、後・晩期では4次2区を中心とした石器を展示する。

第7章 縄文時代の狩猟・漁撈・採集用具と動植物遺体

吹浦遺跡の前期末のヤマトシジミ、炭化クリ、小山崎遺跡から出土した石器以外の木製品や骨角器、それに、食料となった動植物遺体を展示する。

第8章 縄文時代の装飾と祈り、物流と交流

吹浦遺跡の石製・土製の耳飾り、ヒスイ製品、小山崎遺跡の土偶、土製・石製耳飾り、漆容器、漆製品、ボタン状土製品、ヤシの容器片、神矢田遺跡の土偶、土板、耳飾り、玉、スタンプ状土製品、漆容器、杉沢A遺跡の土偶レプリカ、三崎山A遺跡の青銅刀レプリカ、吹浦・小山崎・神矢田遺跡のアスファルト付着石鏃。

●第32回企画展

「遺跡の中のカミ・ホトケ」

9月14日(土)～12月1日(日)

※これまでに県内で調査された遺跡から、祭祀に関連する遺構・遺物の展示を行い、山形県における古代から近世までの、人々とカミ・ホトケとの関りについて考える。

企画展開催中に、考古学セミナー、企画展講演会などの関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行する。

展示構成は以下のとおりとする。

第1章 「祈りの形」とし、仏像・神像や形代などの祭祀遺物を展示する。第一節では、三条遺跡、今塚遺跡、山海窯跡、宮ノ下遺跡、上野遺跡、大南遺跡、山形城三の丸遺跡、荒川2遺跡、矢馳A遺跡などから出土した神仏を描いたと考えられる墨書土器や木簡、神像、仏像を展示する。第二節では俵田遺跡、今塚遺跡、生石2遺跡、蟬田遺跡、馳上遺跡、手蔵田遺跡、八幡一遺跡、大楯遺跡、亀ヶ崎遺跡、鶴ヶ岡城などから出土した人形、舟形、武器形などの形代を展示する。第三節では、北目長田遺跡、大楯遺跡、上高田遺跡、山形城三の丸遺跡などから出土した仏具等を展示する。

第2章 「書き残された祈り」とし、祭祀に関連する木簡や墨書土器などを展示する。第一節では、今塚遺跡、太夫小屋遺跡、馳上遺跡、生石2遺跡、横山C遺跡、宮ノ下遺跡、三条遺跡、蟬田遺跡、道伝遺跡から出土した祭祀に関連する墨書土器、刻書土器を展示する。第二節では、服部遺跡、後田遺跡、馳上遺跡、藤島城跡、小田島城跡、山形城三の丸遺跡などから出土した祭祀に関連する木簡や笹塔婆を展示する。

第3章 「祈りの場」として、寺院跡や仏堂跡と考えられる遺跡、遺構を紹介し、その出土品を展示する。高松Ⅱ・Ⅲ遺跡、太夫小屋遺跡、八幡一遺跡、上の寺遺跡、中山廃寺跡、覚範寺遺跡、米沢城跡などを展示する。

第4章 「祈りの風景」として、祭祀遺構や埋葬遺構、経塚などを紹介し、その出土品を展示します。第一節では、関B遺跡、岩崎遺跡、新青渡遺跡、南興野遺跡等で見られる井戸祭祀に関わる遺物を展示する。第二節では下長橋遺跡、東田遺跡、浮橋遺跡などで見られる地鎮祭祀に関わる遺物を展示する。第三節では行司免遺跡、柳沢A遺跡、渋江遺跡、八幡西遺跡から出土した葬送儀礼に関わる遺物を展示する。第四節では、笠松山経塚、称名寺裏経塚、金俣経塚、滝経塚、郡之神遺跡、高野坊遺跡から出土した経筒や一字一石経

石、ババ岳山頂出土経筒などを展示する。

●kid' S 考古学新聞コンクール全国巡回展

開催時期未定

令和5年12月1日に審査結果が発表された「第4回kid' s 考古学新聞」の入賞作品の巡回展です。今年度もロビーでの展示となります。今回も山形県内の児童の入選作はありませんが、毎回力作ぞろいです。ご家族での見学をおすすめいたします。

♥自主事業

👤体験事業

1 「赤ちゃん手形をつくろう」

4月27日(土)～4月29日(月)、5月3日(金)～5月6日(月)の7日間開催いたします。4月30日(火)～5月2日(木)は開催しません。(今年も事業にお手伝いいただけるボランティアを募集いたします。お手伝いいただける会員の皆様のご連絡をお待ちしております。)

今年度の目標は手形足形合計 800 個以上です。(令和2年度 311 個、令和3年度 448 個、令和4年度 489 個、令和5年度 673 個)

4月29日(土・祝日)、5月3日(月・祝日)、5月4日(火・祝日)を臨時開館日とし、臨時開館日と条例に基づく5月5日(木)の無料開館日の振替えとして5月7日(火)・8日(水)を臨時休館日とします。

※参加申し込みは4月1日(月)から受け付けています。

2 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月25日(土)・7月7日(土)・11月3日(日・祝日) 目標 50名(令和5年度 32名)

11月3日(日・祝日)の無料開館日の振替えとして11月5日(火)を臨時休館日とする。

※申し込みは開催日の概ね1ヶ月前からとします。

3 「ガラス玉をつくろう」

6月8日(土)・11月23日(土) 目標 20組(令和5年度 17組)

4 「コースターをつくろう」(簡易織機、あんぎん台使用)

6月15日(土)・11月30日(土) 目標 10名(令和5年度 7名)

5 「古代風ブレスレットをつくろう」

6月15日(土)・11月30日(土) 目標 10名(令和5年度 7名)

6 「大人の自由研究1ーカラムシから繊維をとって、織物をつくろうー」

7月13日(土) 目標5名(令和5年度3名)

7 「大人の自由研究2ー塩引きをつくろうー」

11月24日、12月1日、8日の各日曜 募集各6+3名 目標27名(令和5年度21名)

研修事業

県内外の遺跡や資料館をめぐることで、遺跡や考古資料への関心・理解を深めて頂きます。

1 春の遺跡めぐり 5月19日(日) 酒田市の遺跡と文化財

史跡城輪柵跡、史跡堂の前遺跡、市史跡八森遺跡、生石2遺跡(出土品が県指定考古資料)、松山文化伝承館・県指定建造物松山城大手門、酒田市文化資料館光丘文庫(市指定文化財多数展示)、史跡山居倉庫・庄内米歴史資料館。

2 みる・きく・ふれる遺跡の旅 6月22日(土)~23日(日)

昨年度、再開した遺跡の旅、今年度は群馬県北部の史跡や展示施設を訪れます。いずれも国指定史跡である岩宿遺跡、大室古墳群、矢瀬遺跡、黒井峯遺跡、茅野遺跡、総社古墳群、上野国分寺跡、二子山古墳、八幡山古墳と、展示施設である岩宿博物館、赤堀歴史資料館、月夜野郷土史歴史資料館、榛東村耳飾り館、前橋総社歴史資料館、上野国分寺館です。宿泊地は伊香保温泉となります。

参加人数が少ない場合は催行できませんので、皆様奮ってご参加ください。

3 秋の遺跡めぐり 10月20日(日) 多賀城市の遺跡と文化財

特別史跡多賀城跡、高崎廃寺跡、東北歴史博物館、多賀城市埋蔵文化財センター等を見学します。

考古学への関心の裾野を広げる事業

館長講座「遊佐町の考古学」を開催。

特別テーマ展に展示する資料や検出された隣接地を含む遺構と遺構について7月の日曜日に2回に分けて解説・説明する。

第1回(7月7日(日))

・旧石器時代、縄文時代早・前期の遊佐町

第2回(7月14日(日))

・縄文時代中期から晩期の遊佐町

考古学セミナー

企画展のテーマに沿った考古学セミナーを開講し、企画展講演会も開催する。企画展の展示資料について理解を深めて頂くことを狙いとする。

※第 25 期考古学セミナー（講座のテーマ「遺跡の中のカミ・ホトケ」）

第 1 回 令和 6 年 9 月 22 日(日)

- ・演題未定 山形考古学会顧問 佐藤 庄一氏
- ・演題未定 (公財) 山形県埋蔵文化財センター 渡辺 和行氏

第 2 回 令和 6 年 9 月 29 日(日)

- ・演題未定 (公財) 山形県埋蔵文化財センター 水戸部秀樹氏
- ・演題未定 (公財) 山形県埋蔵文化財センター 高 桑 登 氏

第 3 回 令和 6 年 10 月 6 日(日)

- ・演題未定 米沢市教育委員会 佐藤 公保氏
- ・演題未定 長井市史編纂専門員 岩崎 義信氏



企画展講演会

11 月 12 日(日)

演 題 「遺跡の中のカミ・ホトケ(仮題)」

講 師 三上 善孝氏 (国立歴史民俗博物館教授)



出前講座

出前講座は具体案を提示して積極的に P R し、依頼があった場合は適宜対応する。

- (1) 講演会等の講師要請に対しては、館長・学芸員による出前講座を実施する。
- (2) 体験学習等の講師要請に対しては、学芸員・館職員による出前講座を実施する。



各種団体との連携事業

- (1) 「うきたむ風土記の丘考古資料館自主事業委員会」との連携。
- (2) 「うきたむ考古の会」共催事業として遺跡の旅を行う他、他事業においても連携を取る。
- (3) 「うきたむ学講座実行委員会」との共催事業として「うきたむ学講座」を開催する。
 - ① うきたむ学講座 全 2 回
- (4) 「山形考古学会」共催事業として山形の考古資料検討会を実施する。
- (5) 考古学関連の講演会やシンポジウムの共催等に随時対応する。
- (6) 「東北文化の日」協賛。



博学連携事業

1. 授業・行事での利用

- (1) 利用の申し出があった場合は、事前に打ち合わせの上 (利用打合せ書の提出)、見学・

体験学習（出前講座含む）を実施する。

- ① 見 学 館内展示、歴史公園の復元住居・古墳、周辺の遺跡等。
- ② 体験学習 縄文服着用、火おこし、弓矢・石器・勾玉・ブレスレット・布作り。

(2) 各事業内容について適宜見直しを行い、授業や行事に取り入れやすいよう工夫する。

(3) 自由研究相談(夏休み期間中随時)

2. 教育目的に沿った中学・高校・大学の団体見学の受け入れ

より深い学びの場としての当館利用の促進を図る。

3. その他

教育関連団体ほか、各種団体に会場を提供するなど、学校教育・社会教育関係者との情報交換を密にする。

♥ 印刷物の刊行

1. 館報 6月発行(第63号)・12月発行(第64号)。
2. 年報 令和6年4月発行。
3. 特別テーマ展図録 6月発行
3. 企画展図録 9月発行(ポスター・チラシは8月に配布)。
4. 催し物案内 令和6年3月発行。
5. 各事業案内チラシ等 随時。

♥ 調査相談・借用依頼対応

当館所蔵資料の借用、利用依頼に対して随時対応する。所蔵以外の資料についても、調べたり相談先を紹介したりするなどして、できる範囲で対応する。

事務局からのお願い

令和6年度館事業「赤ちゃん手形」の開催にかかる ボランティアの募集について

当館事業で最も人気が高い「赤ちゃん手形」は新型コロナ前には1,000個を越える事業規模でしたが、コロナ後は開催期間の短縮と人数制限を行いながら開催してきたところですが、5類移行に伴い、すべての制限を解除して開催することといたしました。

令和6年度は4月27日(土)から29日(月)、5月3日(金)から5月6日(月)まで前半と後半に分けて開催いたします。令和5年度には会員の皆様にボランティアとしてお手伝いいただきましたが、今年も募集することと致しました。各日とも9時30分から16時までとなっています。なお、お手伝いいただける方には、些少ですがお礼をお渡しいたします。

何かとご多忙のこととは存じますが、お手伝いいただける方は、電話で、館にお手伝いしていただける日をお知らせくださるようお願いいたします。